

# 絵の共通点を探せ！ ～Google フォームで知る他者との違い～

泉佐野市立新池中学校

教科	自立活動	単元名	他者の意図や感情の理解
----	------	-----	-------------

## 本時のねらい

・自分の考えと他者の考えの違いを受け入れながら、活動に取り組む。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

1 人 1 台端末を使って、4 枚の画像のうち、3 枚の画像の共通点を見つけ、残りの 1 枚の画像を選択するという課題に取り組むことを通して、答えを自分で考え、自分で選ぶ（自己選択、自己決定）力の育成をねらった。

Google フォームで課題を作成することにより、全員の解答をリアルタイムで集計することができる機能を活用して、他者の意見を容易に知り、自分の考えと比較ができることをねらった。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC                      ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）                      ・フォーム作成ソフト（Google フォーム）  
 ・授業支援ソフト（Google Classroom）                      ・大型ディスプレイ

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のめあて「いろいろな考え方があることを知る」とともに、本時の流れ「説明→個人で活動→答えの共有」の確認をする。</li> <li>○タブレット PC の利用時のルールを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型ディスプレイに文字とイラストで作った説明を表示することで、視覚的に理解できるようにする。ただし、「めあて」と「流れ」は、いつでも確認できるように、黒板に掲示する。</li> </ul>
展開 (25 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「絵の共通点を探せ！」の行い方の説明を聞く。 * 絵の共通点を探し、共通点をもたない絵を選択する。</li> <li>○例題に挑戦し、課題の行い方を理解する。</li> <li>○名前を入力した後、全員の準備が整うまで待つ。</li> <li>○全員が準備できたら、押して課題のページに移る。4 枚の画像から 1 枚だけ共通点をもたない画像を選択していく。自分のペースで最後まで解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型ディスプレイに課題の取り組み方を表示することで、今から何をすればいいのかわかりやすくし、活動を始めやすくする。</li> <li>・フォーム作成ツール（Google フォーム）で作成した課題は、セクションを分けることで、活動を一時停止する場所を分かりやすくする。</li> <li>・「ローマ字表」や「ひらがな入力」などを活用することで、入力が苦手な生徒も安心して活動に参加できるようにする。</li> <li>・ディスプレイにタイマー（残り時間）を表示することで、解答するスピードを自分で意識できるようにする。</li> </ul>
まとめ (15 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○解答の集計結果を大型ディスプレイに表示し、自分とは違う番号を答えた人がいることを確認する。同じ問題でも様々な見方、考え方があることに気づく。</li> <li>○選んだ理由を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォームの回答ページを表示することで、即座に結果の確認をする。「テスト」の設定をせず、「アンケート」として行うことで、生徒が「正解」を探すことにとらわれず、他者の意見を受け入れやすい雰囲気を作る。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 例題に取り組む様子



写真2 課題に回答する様子



写真3 結果をふりかえる様子

## 児童生徒の反応や変容

・自分で決めることが苦手な生徒が、答えを選択することができた。また、自分の考えを言葉で表現することが苦手な生徒が、理由を話すことができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

挙手して答えるようにすると、恥ずかしさや迷いにより、多数派の意見に合わせてしまう生徒や意見を伝えない生徒がいる。タブレット PC では、周りの意見に流されず、自分の意見や決定したこととして、選択をすることができる。選んだ結果、「自分とは違う見方があること」「自分と同じ考えをする人がいること」を知ることが他者とコミュニケーションをとるための力になると考えた。